



令和3年度

神谷だより

<12月号>

令和3年12月1日
北区立神谷小学校
校長 星野 典子

教育目標：すこやか・まなび・おもいやり

みんなで創り上げた舞台

校長 星野 典子

学芸会は、日頃の学習の成果はもちろんのこと、学校生活で身に付けた様々な力を結集し、表現活動として発表する場です。今年度の学芸会のテーマは、「神谷劇場開演！100%の思いをこめてみんなに感動を届けよう！」でした。そのテーマの通り、誰もが100%の思いを込めて、もっている力を十分発揮し一生懸命演じていました。そしてその姿は見ている私たちに大きな感動を与えてくれました。



学芸会を成功させるには、一人一人が役になりきり台詞や動きを工夫して演じることが大事ですが、それぞれが自分のことだけを一生懸命やるだけでは十分ではありません。一緒に演じる相手と息を合わせたり助け合ったりしながら、みんなで気持ちを一つにして演じることが大切です。それは、劇を創り上げていく過程でも見られました。どの学年も、動きや踊りの振り付けを友達と相談して考えたり、「みんなに届くようにはっきり話した方がいいよ。」「動きをもう少し大きくしよう。」「ひざを曲げて踊ったらどう？」等とアドバイスをし合ったりしていました。また、演じることだけではなく、大道具や小道具、背景作りなども、自分たちでアイデアを出し、工夫して作り上げていました。まさに「みんなで創り上げた舞台」だったと思います。

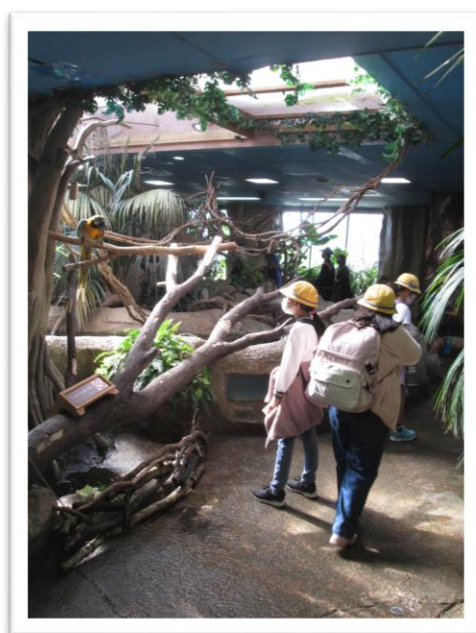
この学芸会の取り組みを通じて、子供たちは「仲間と協力して物事を創造する力」「困難に出会ってもくじけずにやり遂げる力」「自分の考えや意見を堂々と発表する力」「最後まで挑戦し続ける力」等を身に付け、大きく成長することができました。子供たちの成長した姿は会場にいらっしゃった皆様にもご覧いただけたことと思います。感染予防対策のため、人数を限定しての参観、学年ごとの入れ替え制での実施とさせていただきましたが、ご来場くださいました皆様からは、子供たちの熱演に大きな拍手をいただき、誠にありがとうございました。今後は、この身に付けた力を普段の学習や生活にも生かしていけるよう、引き続き取り組んで参ります。

最後になりましたが、今年も保護者・地域の皆様には、多くのご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。師走を迎え、ますます寒い季節になります。体調にご留意され、穏やかな年末年始を迎えられることを祈念いたします。

11月29日の全校朝会に赤羽消防署予防課長の會田様が来校され、「はたらく消防生会」の表彰を行いました。その後、會田様から、子供たちに守ってほしい3つのことの話がされました。1つ目は「ライターなどで火遊びをしないこと」、2つ目は「火災がおきたときの避難の仕方をしっかり身に付けておくこと」、3つ目は「火災を発見したら大きな声で大人に知らせること」でした。「3つのこと、みんなしっかり守れますか？」の問いかけに、みんな元気よく「はい！」と答えていました。



那須移動教室代替活動



11月1日（月）に那須移動教室の代替活動として、那須どうぶつ王国へ行ってきました。

子供たちは、小春日和の中、猛禽類やヨウム・インコによる「バードショー」を見たり、アルパカやカンガルー、スナネコなどを見学したり、自然や動植物とふれ合ったりする等の様々な体験活動を通して、「動物たちとの共生や環境問題」についても考える機会となりました。

また、子供たちはグループに分かれて見学をしましたが、みんなで協力し合い、時間やマナーを守って行動することができました。

この経験をこれからの学校生活や、来年度の宿泊行事に生かせるよう、大切にしていきたいです。

学

芸

会



6年生 「夢から醒めた夢」



5年生 「Beauty & Beast」



4年生 「アラジン」



3年生 「なんでも引き受け株式会社」



2年生 「神谷にんじゃスクール」



1年生 「おたまじゃくしの101ちゃん」



11月19日(金)、20日(土)に学芸会を行いました。3年に一度の学芸会、神谷小学校としては最後の学芸会でした。

「神谷劇場開演！ 100%の思いをこめてみんなに感動を届けよう！」をテーマに掲げ、創意工夫を凝らしながら各学年で取り組んできました。

皆で心と力を合わせながら、国語(台詞)や音楽(歌や楽曲)、図工(衣装や小道具・大道具)や体育(体の表現)、各教科で育んできた力を最大限に生かして一つの劇を創り上げていきました。その面白さを味わいながら、時にはその難しさに直面しながら、一人一人が100%の思いで努力してきた姿が、生き生きとした演技となって表れていました。

[学芸的行事委員会主任 藤井隼人]